

**今年の夏季休暇は平均約6日間、  
「自宅で過ごす」と「国内旅行」が人気の過ごし方に  
- 夏季休暇に関する調査 -**

URL: <http://research.rakuten.co.jp/report/20170728/>

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：田村 篤司、以下「楽天リサーチ」）は、「夏季休暇に関する調査」をインターネットで実施しました。今回の調査は、2017年6月30日（金）から7月1日（土）の2日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約230万人）の中から、全国の20代から60代の会社員、公務員・団体職員の男女1,000人を対象に行いました。

■□ 調査結果概要 □■

**■今年の夏季休暇は76%が取得予定。取得日数については現実と理想で差が出る結果に**

今年のお盆休みなどを含めた夏季休暇の取得（予定）状況を聞いたところ、76.1%が「取得する」と回答した。また夏季休暇の取得時期については、9割近くが「8月」（89.4%）という結果になった。7月から9月を避けて休暇を取得する予定の人は2.0%と少数だった。

昨年と今年の夏季休暇日数について聞いたところ、昨年と同様に今年も「4日～5日」（今年：38.5%、昨年：35.5%）が最も高かったが、今年の方が3.0ポイント高く、6日以上取得すると回答した人の割合も今年の方が若干高い結果となった（今年：46.5%、昨年44.6%）。夏季休暇の取得日数は昨年が平均6.1日、今年が平均6.4日と微増した。

また、今年の夏季休暇の希望日数を聞いたところ、「6日～7日」（27.4%）が最も高かった。

**■今年の夏季休暇は約4割が「自宅で過ごす」、3割強が「国内旅行」へ**

今年の夏季休暇の予定について聞いたところ、「自宅で過ごす」が40.2%で最も高かった。移動を伴う過ごし方については「国内旅行」（35.3%）、「お墓参り」（29.2%）、「遠出ではない外出をする（買い物など）」（28.8%）と続いた。「海外旅行」については9.9%と最も少ない結果となった。

年代別に見ると、20代、30代は「帰省」（20代：36.3%、30代：37.3%）、「レジャースポットに行く（プール・遊園地・海水浴など）」（20代：21.9%、30代：22.5%）の項目において他の年代と比べて割合が高かった。

**■今年のボーナス支給額は昨年比で「変わらなかった」が4割強。約3割は「増えた」と回答**

今年の夏のボーナス支給額について、昨年からの増減を聞いたところ、約4割が「変わらなかった（変わらない予定）」（44.1%）と回答した。一方で、「増えた（増える予定）」（29.1%）と回答した人のほうが「減った（減る予定）」（17.7%）に比べ11.4ポイント高くなった。

年代別では、20代、30代において「増えた（増える予定）」という回答が他の年代よりも高い結果と

なった（20代：42.8%、30代：38.3%）。

### ■夏のボーナスの使い道は約半数が「貯蓄」。20代や女性において高い傾向に

今年の夏のボーナスの使い道について聞いたところ、約半数の45.8%が「貯蓄」と回答し、「買い物」（33.8%）、「旅行・レジャー」（33.8%）、「ローン・借金返済」（19.5%）が続いた。

「貯蓄」については、20代（60.1%）の割合が最も高く、また性別では女性の割合の方が高い（女性：59.3%、男性42.2%）結果となった。

---

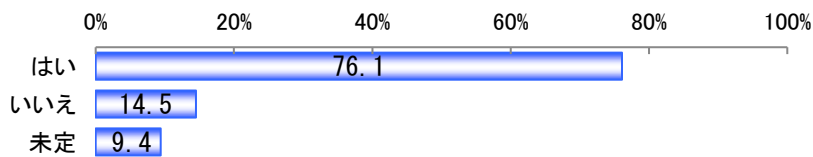
## ■ □ 調査結果 □ ■

---

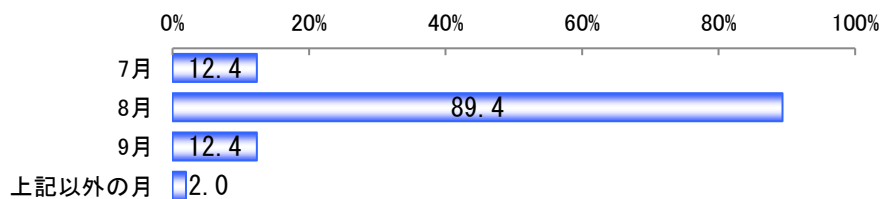
### ■今年の夏季休暇は76%が取得予定。取得日数については現実と理想で差が出る結果に

今年のお盆休み等を含めた夏季休暇の取得（予定）状況を聞いたところ、76.1%が「取得する」と回答した。また夏季休暇の取得時期については、9割近くが「8月」（89.4%）という結果になった。7月から9月を避けて休暇を取得する予定の人は2.0%と少数だった。

#### ◇今年の夏季休暇（お盆休みなど）の取得予定について（n=1,000） 単位：%

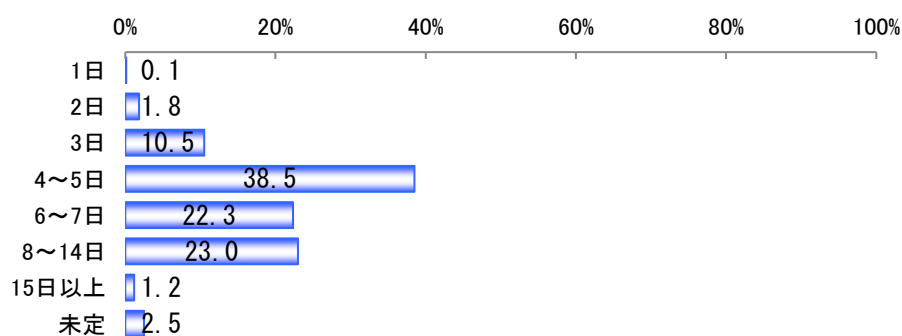


#### ◇今年の夏季休暇（お盆休みなど）の取得時期について（n=761） 単位：%

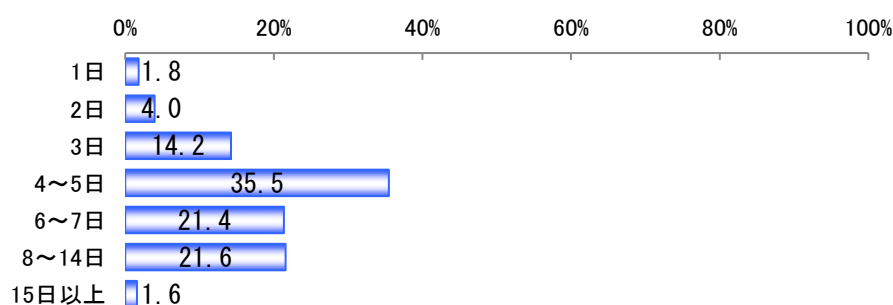


昨年と今年の夏季休暇日数について聞いたところ、昨年と同様に今年も「4日～5日」（今年：38.5%、昨年：35.5%）が最も高かったが、今年のほうが3.0ポイント高く、6日以上取得すると回答した人の割合も今年のほうが若干高い結果となった（今年：46.5%、昨年44.6%）。夏季休暇の取得日数は昨年在平均6.1日、今年が平均6.4日と微増した。

◇今年の夏季休暇の予定取得日数について (n=761) 単位：%

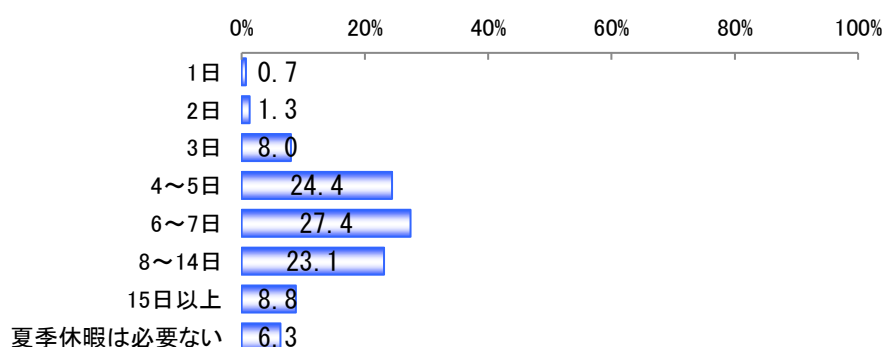


◇昨年の夏季休暇の取得日数について (n=885) 単位：%



また、今年の夏季休暇の希望日数を聞いたところ、「6日~7日」(27.4%)が最も高かった。

◇今年の夏季休暇の希望日数について (n=1,000) 単位：%

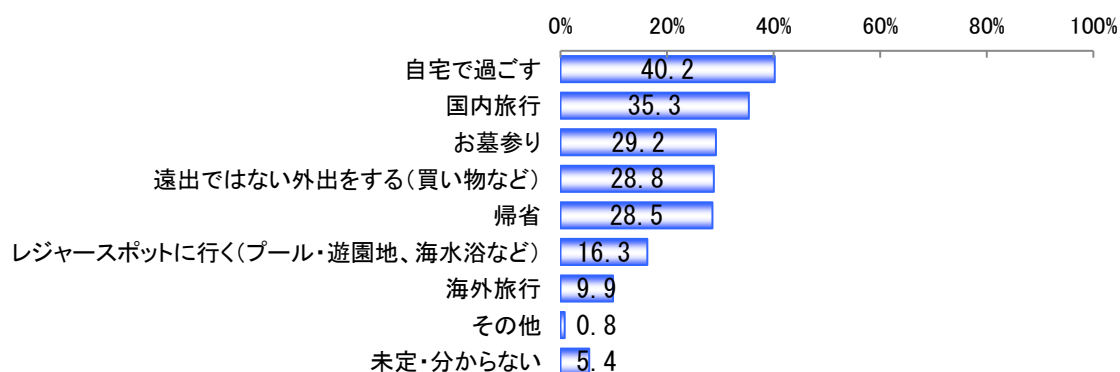


■今年の夏季休暇は約4割が「自宅で過ごす」、3割強が「国内旅行」へ

今年の夏季休暇の予定について聞いたところ、「自宅で過ごす」が40.2%で最も高かった。移動を伴う過ごし方については「国内旅行」(35.3%)、「お墓参り」(29.2%)、「遠出ではない外出をする(買い物など)」(28.8%)と続いた。「海外旅行」については9.9%と最も少ない結果となった。

年代別に見ると、20代、30代は「帰省」(20代：36.3%、30代：37.3%)、「レジャースポットに行く(プール・遊園地・海水浴など)」(20代：21.9%、30代：22.5%)の項目において他の年代と比べて割合が高かった。

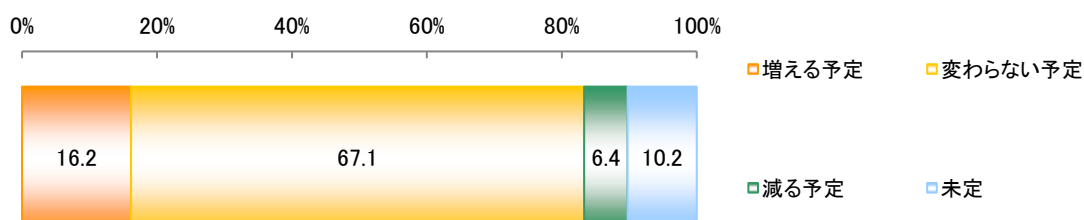
◇今年の夏季休暇の予定について（n = 761）複数回答 単位：%



		n	自宅で過ごす	国内旅行	お墓参り	遠出ではない外出をする (買い物など)	帰省	レジャースポットに行く (プール・遊園地、海水浴など)	海外旅行	その他	未定・分からない
全体		761	40.2	35.3	29.2	28.8	28.5	16.3	9.9	0.8	5.4
性別	男性	594	40.2	35.9	28.5	27.4	28.3	16.7	8.9	0.8	6.1
	女性	167	40.1	33.5	31.7	33.5	29.3	15.0	13.2	0.6	3.0
年代	20代	146	40.4	39.0	25.3	29.5	36.3	21.9	13.7	0.0	6.2
	30代	142	41.5	29.6	32.4	30.3	37.3	22.5	10.6	0.7	2.8
	40代	159	42.1	35.8	26.4	32.7	27.0	17.6	6.9	0.0	7.5
	50代	152	40.1	40.8	25.0	22.4	24.3	11.8	4.6	1.3	5.3
	60代	162	37.0	31.5	36.4	29.0	19.1	8.6	13.6	1.9	4.9

また、夏季休暇にかける予算について、昨年からの増減を聞いたところ、半数以上が「変わらない予定」(67.1%)と回答した。一方で、「増える予定」(16.2%)と答えた方のほうが「減る予定」(6.4%)に比べ9.8ポイント高く、全体としては増加傾向となった。

◇今年の夏季休暇にかける予算の増減について（n = 761） 単位：%



■今年のボーナス支給額は昨年比で「変わらなかった」が4割強。約3割は「増えた」と回答

今年の夏のボーナスの支給額を聞いたところ、全体では「0円（支給なし）」（16.9%）が最も高かった。年代別に見ると、60代では「0円（支給なし）」（27.5%）との回答が最も多かったが、50代までは年代が上がるにつれて支給額も高くなる傾向が見られた。20代および30代では「200,001～400,000円」、40代は「400,001～600,000円」、50代は「1,000,001～2,000,000円」と回答した人が最も多かった。

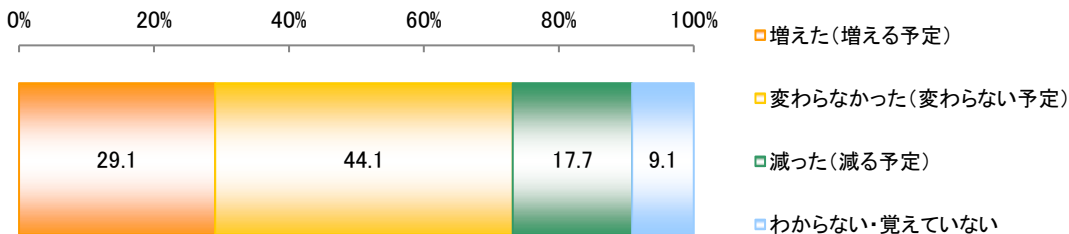
◇今年のボーナス支給額について（n=1,000） 単位：%

		0円 （支給なし）	1万円	4万円	6万円	8万円	10万円	20万円	25万円	25万円以上	教えた たくない	わから ない
n												
全体	1000	16.9	11.6	14.3	12.0	8.8	6.7	8.1	2.2	7.5	11.9	
性別	男性	764	15.4	9.0	13.0	13.0	10.2	7.7	9.4	2.9	8.4	11.0
	女性	236	21.6	19.9	18.6	8.9	4.2	3.4	3.8	0.0	4.7	14.8
年代	20代	200	15.0	17.5	23.5	13.5	6.5	3.5	2.0	0.5	2.0	16.0
	30代	200	13.5	11.0	20.0	18.0	12.0	6.5	4.0	1.0	4.5	9.5
	40代	200	15.5	7.5	8.5	13.5	12.5	10.5	10.0	1.0	10.0	11.0
	50代	200	13.0	11.0	7.0	7.5	7.5	8.5	17.5	5.5	12.0	10.5
	60代	200	27.5	11.0	12.5	7.5	5.5	4.5	7.0	3.0	9.0	12.5

また、昨年からの支給額の増減について聞いたところ、約4割が「変わらなかった（変わらない予定）」（44.1%）と回答した。一方で、「増えた（増える予定）」（29.1%）と回答した方のほうが「減った（減る予定）」（17.7%）に比べ11.4ポイント高くなった。

年代別では、20代、30代において「増えた（増える予定）」という回答が他の年代よりも高い結果となった（20代：42.8%、30代：38.3%）。

◇昨年と比較した夏のボーナス支給額の増減について（n=712） 単位：%



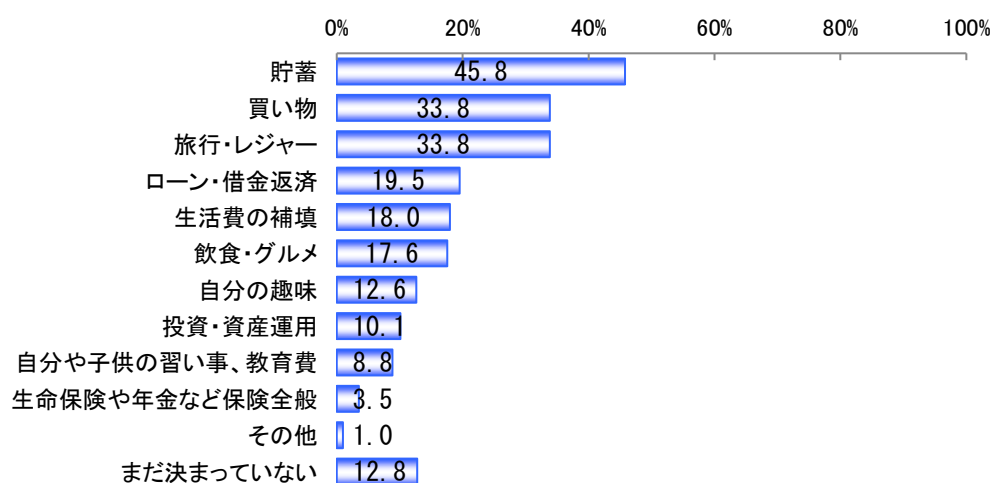
		n	増えた (増える予定)	変わらなかった (変わらない予定)	減った (減る予定)	わからない・覚えていない
全体		712	29.1	44.1	17.7	9.1
性別	男性	562	28.3	45.9	18.0	7.8
	女性	150	32.0	37.3	16.7	14.0
年代	20代	138	42.8	29.0	13.8	14.5
	30代	154	38.3	41.6	11.7	8.4
	40代	147	25.2	54.4	12.9	7.5
	50代	153	26.1	41.2	24.8	7.8
	60代	120	10.0	55.8	26.7	7.5

### ■夏のボーナスの使い道は約半数が「貯蓄」。20代や女性において高い傾向に

今年の夏のボーナスの使い道について聞いたところ、約半数の45.8%が「貯蓄」と回答し、「買い物」(33.8%)、「旅行・レジャー」(33.8%)、「ローン・借金返済」(19.5%)が続いた。

「貯蓄」については、20代(60.1%)の割合が最も高く、また性別では女性の割合の方が高い(女性：59.3%、男性42.2%)結果となった。

### ◇今年のボーナスの使い道について (n=712) 複数選択 単位：%



		n	貯蓄	買い物	旅行・レジャー	ローン・借金返済	生活費の補填	飲食・グルメ	自分の趣味	投資・資産運用	教育費	自分や子供の習い事、 全般	生命保険や年金など保険	その他	まだ決まっていない
全体		712	45.8	33.8	33.8	19.5	18.0	17.6	12.6	10.1	8.8	3.5	1.0	12.8	
性別	男性	562	42.2	31.9	33.1	21.9	18.5	16.2	12.8	11.7	9.4	3.6	0.7	14.2	
	女性	150	59.3	41.3	36.7	10.7	16.0	22.7	12.0	4.0	6.7	3.3	2.0	7.3	
年代	20代	138	60.1	37.0	39.1	11.6	14.5	23.2	10.9	13.8	3.6	4.3	1.4	8.0	
	30代	154	52.6	40.9	31.2	18.2	16.2	21.4	11.0	11.7	6.5	5.2	1.3	12.3	
	40代	147	40.1	38.8	31.3	25.2	17.7	16.3	14.3	10.9	17.7	2.7	1.4	11.6	
	50代	153	35.9	26.8	34.0	29.4	20.9	13.1	11.8	5.9	10.5	2.6	0.7	13.1	
	60代	120	40.0	24.2	34.2	10.8	20.8	13.3	15.8	8.3	5.0	2.5	0.0	20.0	

【調査概要】

調査エリア : 全国  
 調査対象者 : 会社員、公務員・団体職員 20歳～69歳 男女  
 回収サンプル数 : 1,000 サンプル  
 調査期間 : 2017年6月30日から7月1日  
 調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

以上